

青桐会 保護者のためのガイドブック 発行にあたり

大東文化大学青桐会

第42代会長 森 田 香 子

日頃から会員(父母等の保護者)皆様におかれましては、大東文化大学青桐会活動へのご理解そしてご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

当会は「父兄会」を前身として1961年(昭和36年)に創設された保護者の会です。在京の多くの私大には父母会が存在しております。大学との相互協力による学生の生活充実を目的として設立、1963年(昭和38年)の北海道支部が発足、1972年(昭和47年)には奈良県支部が最後に発足され47都道府県に支部を配置する全国組織へと発展して参りました。2005年(平成17年)名称を父兄会から「青桐会」へ変更いたしました。

例年7月初旬より約2か月間の中で、全国各支部において支部総会が開催されます。支部総会と就職懇談会を併催される支部も多く、大学教職員の派遣を頂くと共に青桐会本部からも役員を派遣しております。

大学のトピックス、就職状況・学生活動への支援体制、学生個々の履修状況を含めたご報告を行って頂きます。外部団体による地元の就職状況などの講演を行う支部もあります。また総会では、支部の活動状況報告や意見交換、先生方との個人面談の時間も設けられ、先生方との交流はもとより会員相互の交流も図られ、様々な情報交換の場となっており、ご好評を頂いている状況です。

その際の皆様からのご意見・ご要望を役員が持ちかえり、青桐会本部で取り纏めて大学との意見交換会でご報告を行い、大学生活の向上に役立てられる様に考えております。

このガイドブックは、大学各部署からの貴重な情報を集め、履修・進級要件・大学の教育環境支援・学生生活面の情報、また就職進学状況などを掲載し、巻末に前年度の皆様からのご意見・ご要望について大学からの回答を掲載させて頂きましたので、お子様とご一緒にご参照をいただき、学生生活のお役に立てていただければ幸いです。

尚、青桐会HP(ホームページ)からも閲覧可能です。

今後も青桐会関係者一同の協力体制のもと、様々な活動の向上を目指して鋭意・改善を心掛けて参りますので、ご支援・ご協力を賜ります様、お願いする次第です。

2025年度青桐会役員名簿

全国支部長

| NO | 支部名 | 氏名 | NO | 支部名 | 氏名 |
|------------|--------|--------|-----------|--------|--------|
| 北海道・東北ブロック | 北海道支部 | 須貝 拓也 | 近畿ブロック | 滋賀県支部 | 未定 |
| | 青森県支部 | 工藤 健司 | | 京都府支部 | 未定 |
| | 岩手県支部 | 未定 | | 大阪府支部 | 北出 雅人 |
| | 宮城県支部 | 三浦 優広 | | 兵庫県支部 | 藤井 宏一 |
| | 秋田県支部 | 戸部 貴子 | | 奈良県支部 | 高草 竜也 |
| | 山形県支部 | 未定 | | 和歌山県支部 | 未定 |
| | 福島県支部 | 吉田 有紀子 | 中国ブロック | 鳥取県支部 | 未定 |
| 関東ブロック | 茨城県支部 | 宇留野 智 | | 島根県支部 | 岩井 美由 |
| | 栃木県支部 | 浜野 忠彦 | | 岡山県支部 | 廣瀬 有里 |
| | 群馬県支部 | 矢口 正志 | | 広島県支部 | 富田 まどか |
| | 埼玉県支部 | 望月 紀子 | | 山口県支部 | 浜田 加奈 |
| | 千葉県支部 | 三宅 良太 | 四国ブロック | 徳島県支部 | 市村 加奈 |
| | 東京都支部 | 佐藤 智昭 | | 香川県支部 | 松本 満 |
| | 神奈川県支部 | 花村 勝巳 | | 愛媛県支部 | 前野 衣利子 |
| 北信越ブロック | 山梨県支部 | 関戸 信 | | 高知県支部 | 未定 |
| | 新潟県支部 | 矢田 一充 | 九州・沖縄ブロック | 福岡県支部 | 未定 |
| | 富山県支部 | 柏原 暁志 | | 佐賀県支部 | 大坪 ひとみ |
| | 石川県支部 | 藤本 宏一 | | 長崎県支部 | 園田 進也 |
| | 福井県支部 | 未定 | | 熊本県支部 | 村上 香織 |
| 東海ブロック | 長野県支部 | 神澤 宏和 | | 大分県支部 | 麻植 雅 |
| | 岐阜県支部 | 田中 友洋 | | 宮崎県支部 | 小泉 知佳子 |
| | 静岡県支部 | 菊地 慶子 | | 鹿児島県支部 | 喜島 正樹 |
| | 愛知県支部 | 未定 | | 沖縄県支部 | 増尾 辰也 |
| 三重県支部 | 池田 真人 | | | | |

本部役員

| 役職 | 氏名 |
|------|---------|
| 会 長 | 森田 香子 |
| 副会長 | 青山 和仁 |
| 副会長 | 大橋 昌弘 |
| 副会長 | 西郷 久美子 |
| 常任理事 | 根本 ひとみ |
| 常任理事 | 庄野 美恵 |
| 常任理事 | 佐渡 恒幸 |
| 常任理事 | 橋谷田 登 |
| 常任理事 | 小林 里美 |
| 常任理事 | 廣瀬 有里 |
| 常任理事 | 松本 満 |
| 常任理事 | 下坂元 ひとみ |
| 会 計 | 石井 英美 |
| 会 計 | 橋本 尚 |
| 監 事 | 高橋 直哉 |
| 監 事 | 星野 強志 |

| | |
|-----|-------|
| 相談役 | 加納 邦夫 |
|-----|-------|

新たな時代の到来に向けて

大東文化大学学長 高 橋 進

青桐会会員の皆さま方には、日頃より、本学の教育・運営に対しまして、ひとかたならぬご厚誼・ご協力・ご支援を賜り、心より御礼申し上げます。本学学生は、新型コロナウイルス感染症収束時期から、言わば手探りで本来の大学生活を取り戻そうと躍起になって前進しています。その甲斐あって昨年度についても、本学学生は、スポーツ・文化・芸術問わず様々なイベントで躍動し、大きな成果を上げることとなりました。決して大袈裟に振舞わず、着々と努力を積み上げることのできる本学学生の特質は、今までのご家族の教育の賜物であると感じています。

さて、ご子息、ご令嬢の生まれ育った時代は「デジタル技術に精通したデジタルネイティブ」であるとともに、「社会的公正や環境問題に対する意識が高く、積極的な行動をとることができる世代」「働き方改革の考え方は当然であると認識している柔軟な働き方を好む世代」「Z世代」などと叫ばれています。そして、その時代も「ゼネレーション・アルファ」「ゼネレーション・ベータ」へと急激に移りつつあります。まさに新たな時代の到来です。

そのような急激な変化の時代においても、本学の教育のモットーは「文化と文化の融合から新しい文化を創造していくこと」ですから、まさに時代の変換点にあって、その多様性を受け入れて、学生と共に次の時代を創造していくことで、教育成果の価値を見出してきました。私達教職員は、これからも学生のニーズを大切にしながら教職学協働で新しい時代に挑戦をしていきたいとわくわくもしております。

一方、少子化は加速度的に進行し、日本の大学を取り巻く環境に影響を与えるとともに課題を山積させています。そのような現状の中においても、本学は、一昨年入試、昨年入試において志願者数の大幅な増加を実現して参りました。本学学生の何事にも真摯に取り組む姿勢が、就職にも好影響を及ぼし、教職を含む公務員への就職数も増加の一途を辿るなど、大学の出口の部分の成果、言わば成長を遂げた本学学生の社会的高評価が、入試にも好影響を齎したと信じています。

学生が夢を持ち、夢を実現できる大学、学問に学生生活に邁進できる大学を目標に、私たち教職員は、これからも学生の良き伴走者・理解者でありたいと切に願っています。そのためにも、青桐会の皆さま方との連携・絆を更に深化させて参りたく存じます。どうぞこれからも変わらない、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

目 次

支部総会ごあいさつ

大東文化大学青桐会会長 森田 香子

2025年度 青桐会役員名簿

学長ごあいさつ

大東文化大学学長 高橋 進

教務・学部事務室関係 9

教職・諸資格関係資料／教職課程センター関係 29

学生支援センター関係 37

キャリアセンター関係 55

スポーツ振興センター関係 67

国際交流センター関係 81

地域連携センター関係 93

2024年度全国各支部からの質問・要望／大学からの回答 97

電話・FAXによる諸案内 109